

応募用紙表紙

太枠内を記入してください

受付番号	受付日
<div style="text-align: right; margin-right: 20px;">(ふりがな)</div> 応募者氏名 <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">(漢 字)</div>	
住所	
E-mail	<input type="checkbox"/> 来年度開催予定の特許講座等に関する情報提供を希望する。 (希望する場合は上記 <input type="checkbox"/> にチェックを入れるか塗りつぶしてください)
電 話	
知的財産制度に関する知識の習得状況 (1 つ以上にチェックを入れるか <input type="checkbox"/> を塗りつぶしてください。)	<input type="checkbox"/> 東京大学特許講座の受講(受講年度：) <input type="checkbox"/> 上記以外の知的財産に関する講義の受講(講義名：) <input type="checkbox"/> 平成 29 年度知的財産権制度説明会(初心者向け)テキストの通読 https://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/pdf/h29_syosinsya/1_2_1.pdf
A1 発明の名称(必須)	
A2 発明者(必須) 氏名(年齢)・所属(学部研究科・学科専攻等)・学年 (応募者を筆頭に、共同発明者も含めすべての発明者を記入してください。発明者が複数の場合、寄与率を%で記入してください。また、発明内容に関する専門知識を持つ人には氏名の後に*を記入してください。)	学生の寄与率の合計： % ※「学生の寄与率の合計」が 50%未満の場合、応募いただけません。
A3 発明の分野 (コンピュータサイエンス、日用品など、自分なりに考えて記入ください。)	
A4 発明の PR (任意) (発明の特徴や自慢できる場所等、出願前に公表しても良い点のみ簡潔に PR してください)	
A5 発表の有無 (発明を学会、学会誌等で発表している場合(予定も含む)、その時期と学会名等を書いてください。また、出願済みの場合は発明の名称と出願番号を記載してください)	

注意事項：

上記 A1~A5 の内容は公表する場合がありますので、発明の詳細については様式 B に記入してください。
 記入内容が欄内に書ききれない場合、類似の書式であれば他の用紙に記入しても構いません。

発明の説明書 (A4 タテ、自由形式)

以下の事項について、自由に記入してください。**B1～B3 は必ず記載してください。B4～B13 は必ずしも全ての項目について記述する必要はありません。**必要があれば、A4 判タテの紙に図版等を描いても構いません。

B1 発明の名称 (必須)

B2 発明者 (必須)

B3 発明の概要 (必須)

B4 発明の PR (発明のアピール点を書いてください)

B5 発明に至った経緯

(発明が生まれたきっかけなどを自由に書いてください。)

B6 発明の特徴

(特許明細書の「特許請求の範囲(クレーム)」に該当し、発明の権利範囲を特定するためのものです。)

B7 従来技術

(この発明と同じような技術や製品がどのようなものであったか、また同じ分野の研究発表にどのようなものがあったかなどを簡単に記入してください。類似特許に関する先行調査も可能な範囲で行ってください(特許情報プラットフォーム <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>)。判っているものは論文、特許文献等を挙げ、必要があれば添付してください。)

B8 発明が解決しようとする課題

(従来技術が持っている問題点や、従来技術がない場合にはこの発明が解決した問題点等を記入してください。)

B9 課題を解決するための手段

(前記の課題を解決するためにどのような手段(構造・条件・方法・工程・物質)を講じたか、どのような構成にしたか等を記入してください。発明内容に関する専門家が共同発明者に入っている場合や、自分の研究に関する発明については、共同発明者のアイデアと応募者のアイデアが区別できるように明記してください。)

B10 作用

(この発明がどのように機能するか、何に対してどのように作用するか等を記入してください。)

B11 実施例

(この発明を実施した場合の例(複数でも可)を記入してください。この実施例を見た人(その分野での標準的な知識を持った人)が再現できるよう、出来るだけ具体的に記入してください。)

B12 発明の効果

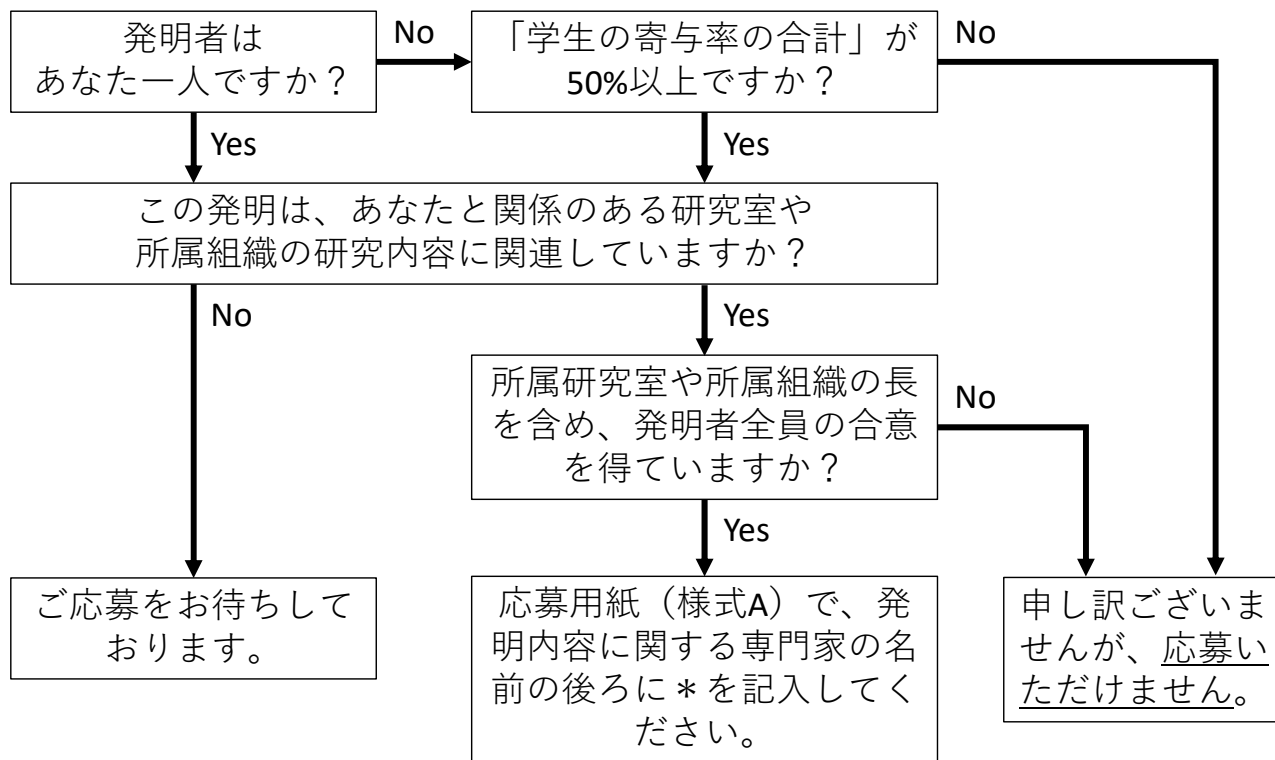
(発明のどの部分がどのような効果を発揮するか、従来技術に対して利点があるかを記入してください。具体的、定量的に書くために効果を示すデータ等があればそれも添付してください。)

B13 図面の簡単な説明

(発明を理解しやすいような図面などを記入してください。図面の種類は問いません。)

発明確認シート

※各質問に対し、**Yes**もしくは**No**を○で囲んでください。



東京大学生産技術研究所
産学連携委員会

委員長 鹿園 直毅 教授殿

発明の名称 _____

第12回東京大学学生発明コンテストに応募する上記発明について、次のことを確認します。

- ・応募用紙表紙（様式A）A1～A5の記載内容については公表しても構いません。
- ・（共同発明者・関係者がいる場合）共同発明者および関係者と合意の上応募いたします。

平成 年 月 日

署名 印